

東京大学大学院 「地域創生 実学概論」(2020年度・後期・集中講義)

開講科目名/Course 人間の安全保障演習 IV/Seminar on Human Security IV

時間割コード/Course Code 31M290-0224A 共通科目コード/Common Course Code GAS-HS6E04S1

開講所属/Course Offered by 総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム修士課程/Graduate School of Arts and Sciences Graduate Program on Human Security Master's Program 曜限/Day, Period 集中/Int

開講区分/semester offered A1A2/A1A2 単位数/Credits 2.0

学年/Year M1/M2 他学部履修/Available to students in other faculties 可

主担当教員/Main Instructor 関谷雄一・木村俊昭 教室/Classroom 8号館210教室

詳細情報/Detailed Information 講義題目/Subtitle/ 「地域創生 実学概論」

授業の目標、概要/Course Objectives/ Overview/

東京への一極集中、地方の過疎と少子高齢化が進行するなか、人口減少に歯止めをかけ、「地域創生・SDGs」の推進や若者等の雇用創出を図る。また、女性の活躍の場づくりなど、雇用安定を図り、成長力を確保するための実学を学び、着実に実践し得る国の「リーダー・プロデューサー人財」を養成するもの。

授業のキーワード/Keywords(※) 地域創生、SDGs、人間の安全保障、多文化共生

英語用/English/ local empowerment, SDGs, human security, cultural diversity

開講時期 9/26-10/17 土曜日3時限目~5時限目(但し、初回のみ2時限目~)

(1)はじめに 地域創生とは何か-9月26日(土)2時限目 関谷雄一、木村俊昭

(2)地域創生の現状と課題-9月26日(土)3時限目 木村俊昭

(3)地域創生の変遷-9月26日(土)4時限目 ICTエヴァンジェリスト 若宮正子さん

(4)地域創生の本質・あるべき姿-9月26日(土)5時限目 農林水産省顧問 末松広行氏(前事務次官)

(5)地方創生における対話の意義-10月3日(土)3時限目 東京大学教授 梶谷真司

(6)地域創生の実学・現場-10月3日(土)4時限目

地方公務員災害補償基金理事長 境 勉氏(前総務省地域力創造審議官)

(7)IHSにおける伝統の継承と地域共生への取り組み-10月3日(土)5時限目 東京大学特任研究員 内藤久義

(8)多文化共生の街づくりとその課題-10月10日(土)2時限目 東京大学教授 外村大

(9)地域創生の事業構想と実践-10月10日(土)3時限目

株式会社電通(インドネシア)吉次史仁氏、ムーブネクスト株式会社代表取締役 五藤幹也氏

(10)地域創生のモデル化①②③-10月10日(土)4時限目

北方領土・根室JC理事長 高橋友樹氏、「健育」ダンスうんどう代表 小林英夫氏

(11)地域創生の実践人財論-10月10日(土)5時限目 奈良県御所市長 東川 裕氏

(12)地域創生のフューチャー・デザイン-10月17日(土)3時限目 福井大学 医師 井階友貴氏

(13)地域創生の今後の展開、まとめ-10月17日(土)4時限目 関谷雄一・木村俊昭

(参考)1時限目 8時30分~10時15分、2時限目 10時25分~12時10分、3時限目 13時~14時45分

4時限目 14時55分~16時40分、5時限目 16時50分~18時35分、6時限目 18時45分~20時30分

授業の方法/Teaching Methods/

集中・公開形式で実施するが、履修学生には授業ごとにリフレクションペーパー等小課題を課し、担当講師によるフィードバックも行う予定。最後に期末レポート課題を課すことも予定している。

成績評価方法/Grade Evaluation/

授業への参加度、各回のリフレクションペーパー、期末レポートなどを鑑み、総合的に評価する。

教科書/Textbook/ 参考書/Reference/ ガイダンス時に紹介する予定。

履修上の注意/Notes on Taking the Course/初回到概要・履修上の諸注意をお知らせするので必ず出席のこと。

※「多文化共生・統合人間学演習Ⅱ」との合併講座